

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175800325		
法人名	特定非営利活動法人 ほのか会		
事業所名	グループホーム あかるい家		
所在地	夕張郡由仁町東栄16-18		
自己評価作成日	平成23年3月10日	評価結果市町村受理日	平成23年4月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>利用者様の個性を大切に、のびのびと自由に楽しく共に生活が、送っていただける様、支援しております。</p>

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0175800325&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成23年3月30日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>「グループホーム あかるい家」は住宅地に立地しており、敷地内には東屋や畑もある豊かな環境である。建物は1階建ての平屋で家庭的な造りになっている。平成15年10月の開設から7年を経過する中で、新しい管理者の下で昨年の外部評価に上げた課題なども熱心に進めている。運営推進会議の回数増、内部研修の充実、センター方式で暮らしの情報を収集し反映させた介護計画、重度化に伴う対応方針の文章化、夜間を想定した避難訓練を実施しスプリンクラー設備の取り付けなど、具体的に取り組んでいる。町内の清掃に利用者もゴミ拾いに参加し、地域の方から除雪を手伝ってもらったり、事業所の夏祭りには子供からジュースの差し入れがあるなど、身近な交流が得られている。また近所の方が利用者を訪ねたり、馴染みの関係や行きたい場所に職員も同行して、暮らしや関係が途切れないように支援している。今後は個別の外出支援も入れた年間を通しての計画的な外出支援を検討している。職員の温かい支えの下で、利用者は家庭的な環境で、新鮮な食材を豊富に盛り込んだ食事を楽しみ、日々ゆったりと過ごしている。</p>
--

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を重んじて共有してはいるものの、利用者様につながらない部分もありますが、日々実践出来るように、努力しております。	法人理念に「地域と共に」の文言を加えて事業所理念とし、意識化できるように居間の見やすい所に掲示してある。新しく入った職員には読み上げながら理念の意味を伝えている。職員はケアや介護計画の中で理念を振り返り共有している。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ボランティアで利用者様のヘアカットに来て下さったり、除雪のお手伝いなどして下さったり、また、夏祭り等にも、参加して下さいます。	町内の清掃に利用者もゴミ拾いをして参加している。地域のボランティアによる除雪の手伝いや散髪に来てもらったり、また訪問によるフラダンス、お茶会などの催しもある。事業所の夏祭りには子供からジュースの差し入れもあり、利用者は交流を楽しみにしている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会のゴミ拾いや、リサイクル回収等に参加、協力させていただきながら、交流を図っております。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年は、防災に関する話し合いを多くもち、今年にはスプリンクラーも設置し、生活の安全を図れる様に取り組んでいます。	運営推進会議は前年度より開催が多く、今年度は4回となっている。町内会役員、町の福祉課担当者、消防署職員数名、家族の参加の下で、事業所報告の他、主に火災対策を討議しており、会議後に避難訓練を実施している。家族全員に会議案内を送っているが、今後は議事録も送る予定でいる。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	役場、消防、自治会の方々への参加により、防火設備に対しての報告と協力体制について、話し合いを行っています。	運営推進会議に町の職員が参加しており、町立病院が協力病院になっているので、受診時にも利用者について話し合う機会が多い。町の担当者も来訪し、スプリンクラー設備取り付けの相談や情報交換を行う中で緊密な協力体制を築いている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	十分理解しており、日々実践しております。施錠については、外部からの進入の事を考えて、夜間のみとしております。	法人で作成した身体拘束に関するマニュアルの他に情報を収集し、それらを基にグループワークを行い、参加できない職員も回覧で内容を共有している。法人研修の中で接遇を学んでいるが、言葉による拘束という理解が全職員に浸透していない様子も見られる。日中は玄関を施錠せず、出入りを見守っている。	マニュアルや情報を参考に、利用者の行動に対して抑制に繋がるような言葉を職員で出し合い、常に意識して確認ができるような方法を期待したい。
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	日々の申し送りの際に話し合い、スタッフ間では、理解しており、防止できています。		

グループホーム あかるい家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在の対象者は2名であり、パンフレットの回覧により各自理解して、出来る限り支援しています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時の契約時に十分理解していただいております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様の意見などに日々耳をかたむけ、必要に応じてご家族、本部と相談し、対応しております。また、意見箱も設置しております。	忙しい中でも家族の来訪時にはゆったりと対応し、利用者の情報を報告する中で意見を聞くように努めている。その中で家族の意見もあり、内容を記録にしたり、また口頭で伝達し情報を共有しながら対応している。	家族のささいな意見や思いを利用者個別ごとに記録化するなどの工夫で、職員間で統一した対応ができるような取り組みに期待したい。
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	必要に応じて話し合いのもと、対応しております。	ミーティングやカンファレンスなどで職員の意見を取り上げ運営に反映させている。現場で決められない時は本部とも相談している。勤務表は職員の希望を入れて調整している。必要な時には本部や管理者との個人面談の機会も得て、職員の働きやすい環境作りを考えている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	希望の休日や時間帯など、ゆうづうしあい、助け合って、勤務出来るようにしています。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部にて研修に出席したスタッフがホーム内にてミーティングし、全員が理解出来るよう、資料の回覧や、報告し、実践に生かせる様に進めています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域での合同研修への参加等で交流を図っております。		

グループホーム あかるい家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人との向き合いを大切にし、不安を解消出来るように、努めています。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族からご本人の生活の仕方を聞くことで、生活に取り込み、以前の生活が送れる様、努めています。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人、ご家族と十分に話す事で、対応しております。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>身の回りの事は、出来る範囲で、ご自分でやっていただき、介助させていただいています。</p>		
19		<p>本人を共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ケアの必要性があれば面会時や、電話等で十分に話し合い、対応しています。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>皆さんではありませんが、ご近所の馴染みの方がいられております。</p>	<p>近所の方が来訪したり、利用者に差し入れなどもある。友達の来訪時には茶菓子を出して、居室でゆっくり過ごせるように配慮している。馴染みの床屋さんに訪問理容をお願いし、希望に応じて職員が同行し利用者の自宅を見に行ったり、お寺参りに行ったこともある。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>フロア内で利用者様同士、楽しく過ごしておられます。</p>		

グループホーム あかるい家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	声かけなど大切にしております。地域でお会いした時など、声をかけて頂きお話しする事もあります。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の意向を大切にしております。よく話を聞いて対応していく様になっています。	利用開始時に利用者の生活情報をセンター方式で詳細に収集し、その方式で全員のアセスメントも作り直す方向で徐々に進めている。状態の変化時にはアセスメントも見直している。意思表示が困難な利用者には動作の観察や筆談で思いを探り、介護計画に反映させている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメント記録を保管し、スタッフで確認し、サービスにつなげております。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の状態に合わせて、見守りし、必要な介助を行っています。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	状態を見ながら報告しあい、意見を出しながらより良いケアプランを作成しています。	本人や家族の意向、また関係者の情報を参考に暫定の介護計画を作成し、1ヶ月後に本計画としている。その後、状態が安定している場合は3ヶ月ごとに見直している。介護計画作成者は利用者の状態を職員から聞き取り、ケアカンファレンスで意見を交換し更新計画書を作成している。その都度計画書に同意の捺印をもらっている。	介護計画の見直し時に、職員もモニタリングを記録する方法などで、さらに見直し作業を共有して更新計画に繋げるよう期待したい。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランの周知とともに、実施や反省などを通じ、見直し等行っております。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	現状に応じて、スタッフ間での相談の後、柔軟に対応しております。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会の行事に参加する事で、つながりを持てるよう支援しております。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前と変わらずの病院や薬局で受診しています。ひきつづいた医療を受けていただき、安心して頂けるように支援しています。	殆どの利用者は以前からのかかりつけ医を継続し、受診には職員が同行して主治医に情報を提供している。家族の来訪時に結果を報告しているが、必要な時は電話で伝えている。受診記録は連絡ノートなどに記録されているが、経過を把握するのに十分とはいえない。	個人の受診状況や主治医、家族と話し合った内容を個人別の記録化などの工夫で、経過を追って把握できるような書類の整備に期待したい。

グループホーム あかるい家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	当ホームには看護師不在の為、定期通院している病院の主治医や看護師の方と連絡を取り、指示をいただき支援しています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、面会等で状況を把握し、退院時の介助について相談等行っています。また、薬局等にも相談も行い支援しています。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化については、日々話し合いを持ち対応しております。終末期については、事例がありません。	重度化に伴う方針とターミナルケアについての考えを文章化し、利用開始時に家族への説明の準備をしている。重度化した場合は主治医の説明から家族と方針を話し合っているが、医療行為が続く場合は入院方向になることを確認している。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ミーティングを通じて、対応などについて、訓練をして、身に付ける様、努力しています。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署との連携を取り、夜間対応の避難訓練も行っております。また本年2月には、緊急通報装置、自動火災報知装置、スプリンクラーが、設置できました。	消防署の協力の下で、年2回の避難訓練を実施しており、夜間を想定した訓練には利用者・家族も参加している。また参加した近隣の方には避難した利用者の見守りをお願いしている。日中の訓練では緊急通報システムも実際に使用して確認し、スプリンクラーも設置して火災に備えている。	火災以外の地震などの災害に備えて、避難誘導を職員間でシミュレーションを行い確認することに期待したい。また、救急救命の訓練を全職員が定期的に受講することを期待したい。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に心がけて対応しております。	呼びかけは「さん」付けを基本として、接遇研修や人格の尊重についての勉強会を行い、命令的な言葉は使わないように配慮している。管理者は、気になる言葉かけがある時はその都度注意を促している。記録時は他者に見えないように配慮し、記録類は事務所で適切に保管している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	よく話しを聞きながら対応しております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の意向を大切に支援しております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	できる部分は自分で、出来ない部分を一緒に考え支援させていただいております。		

グループホーム あかるい家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブル拭きや、片付けなど、出来ることを一緒におこなっております。	献立は本部で作成している。利用者の好みに応じて、食材を活かして調理方法を工夫したり、おやつに希望を取り入れて一緒に料理を楽しむこともある。夏祭りの出店やクリスマスのお弁当など、パラエティーに富んだ食事の機会を工夫している。職員は各利用者のできることを一緒に行い、楽しく会話をしながら食事を共にしている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量はチェック表にて把握しており、要望に応じてコーヒーなど、お出ししております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声かけをし、口腔ケアをしており、義歯洗浄も行っております。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	要望や動作を把握して、トイレ介助を行っております。また、清潔に過ごせる様に見守らせていただいております。	排泄記録でパターンを把握して、他者に分からないような言葉がけでトイレ誘導を行い、失敗を減らすように支援している。夜間も声かけをすることで、ほぼ全員がトイレで排泄を行っている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の工夫や運動を行い、排便表でチェックし、お薬等で調整しております。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日は一応決まっているが、本人の体調や要望に応じ、その都度、対応しております。	日曜日以外の午後に入浴を行い、各利用者が週2回以上入浴できるように支援している。状況に応じて、足浴や清拭、シャワー浴などを行い、清潔保持に努めている。入浴剤を利用したり声かけを工夫して、楽しんで入浴できるように配慮している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状態に応じ、自由に過ごして頂くように対応しております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医に相談しながら、服薬していただき、変化等にも対応できる様、努めています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	リハビリを取り入れたレクを通じ、楽しく運動をしていただくなどしております。		

グループホーム あかるい家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>夏期については、毎日の散歩などしております。通院等の時、遠回りなど近々でドライブなどしております。</p>	<p>夏季の天気の良い日は、毎日数人ずつ周囲を散歩して外気浴を楽しんでいる。利用者の希望に応じて個別の買い物に出かけたり、通院の帰りにドライブを楽しんでいるが、事業所として年間の外出計画を立てるまでには至っていない。冬季は、通院が外出の機会になっている。</p>	<p>事業所の年間計画や個別の外出支援などを作成して、年間を通して計画的な外出支援が行われるように期待したい。</p>
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理の出来る方のみ所持していただく事で安心感を持っていただいています。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>荷物等が届いた時には、ご本人からお礼の電話などしていただいています。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎日、整理整頓に努め、暮らしやすい環境作りを行っております。食材には季節感を取り入れお出ししております。</p>	<p>居間はスプリンクラーの設置により多少の間取り変更が行われているが、ソファーや食卓の配置を工夫して利用者がゆったり過ごせるように配慮している。玄関で出迎える小鳥や居間にさり気なく置かれている縫いぐるみは、家庭的な安らぎが感じられる。共用空間は掃除も行き届いて清潔感があり、利用者が気持ち良く過ごせるように配慮している。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>自由に過ごして頂けるように見守りしております。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>以前に使用していた物を、持って来ていただくなどで、居心地よく生活していただける様にしております。</p>	<p>各居室には事業所で用意したロッカーとベッドが配置されている。好みに床にジュータンを敷いたり、籐いすやタンス、小物類などの使い慣れた家具や好みの物を持って来てもらい、本人が過ごしやすいように工夫している。縫いぐるみを置いたり壁に好みの物を飾るなど、その人らしい居室空間が作られている。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>出来る事をしていただき、お礼を言うことで、ご本人のやる気が出るような声かけをして、支援させていただきます。</p>		

目標達成計画

事業所名 グループホーム あかるい家

作成日：平成 23年 4月 19日

市町村受理日：平成 23年 4月 25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	「拘束」についての意味を考え、「身体」にかぎらず「言葉」でも拘束にあたるとの学習も必要。	言葉による拘束について考えたり、外部研修への参加、スタッフ内で気づいたことを確認をする。また、一方を責めず、自然に話し合える雰囲気作りにかかる。	スタッフに対し「言葉による拘束」の言葉を考えて出し合い、まとめ、それに対して起こりうる行動について、具体的な対応の仕方を、ご本人の身に置き換えて全員で考える。	3カ月
2	10	日々の対応は出来ているが、記録の仕方等に不備があり、スタッフ間での周知と統一が出来ていなかった。	記録の方法を工夫し、スタッフ全員への周知とともに、意見等への対応の仕方について統一を図りたい。	書式を新しく、ファイルに変更し、記入の仕方等も工夫して改善していきます。	1カ月
3	26	モニタリングはその都度行っていたが、記録の仕方が解りづらかった。	プランの見直し時に全員でモニタリングをして、その記録を残しておく。	書式を変更して4月から実践しています。	即日
4	35	防火に関する対応は出来ているが、災害に対するマニュアルが、スタッフ全員に周知徹底されていない。また、講習会、訓練等行ってはいるが、参加スタッフが少ない。	災害用マニュアルを全員で確認する。また、スタッフ全員が講習会、訓練等に参加する。	地域の地図など、もう一度見直しておく。また、昨年行った講習会には出席者が少なかったため、これからは、全員が受けて行くようにする。	6カ月
5	49	年間を通しての外出支援の計画を立てることからはじめ、家族等にも知らせる(計画・実行・結果)必要がある。	年間行事として外出の計画を立てて、行事ごとに担当スタッフを決める。	日常的な外出支援(散歩、畑、買い物)の回数を増やし、外食等も行っていきたいが、認知症等進んでおられるので、他のホーム等との交流を考える。また、季節により、白鳥や桜等観にいっているが、重度の方なども参加出来る様にする。お寺やお墓参りへの支援も行いたい。	1年

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。